

令和8年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

文化・社会学専攻
外国語科目試験問題

【社会学コース・英語】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答ははじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机のうえには、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 特に監督者から指示がなければ日本語で記述してください。
- 6) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和8年2月21日実施

令和8年度 総合文化研究科 一般入学試験・後期 外国語（英語）

（文化・社会学専攻 社会学コース）

問題 以下の英文を読み、設問に答えなさい。

この部分は著作権の関係により掲載できません

設問・出題意図

1. 下線(1)～(6)を訳しなさい。

【出題意図】

社会学に関する学术论文（英語）を正しく読めるか。

2. 二重下線(a)(b)について、あなたの考える具体的な事例をあげて、400 字程度で説明しなさい。

【出題意図】

自身の生活に関連させつつ、現代におけるメディアの双方向性を具体的に説明できるか。